

ガンディー胸像

〔地図番号63〕

設置年月日

2023年（令和5年）5月20日

寄贈者

インド政府 インド文化関係評議会

制作者

ラーム・バンジ・スタール

設置場所

市民や来訪者など多くの人々に親しんでもらえる場所として、平和記念公園近くの元安川東側川岸緑地に設置することとした。



設置の経緯

2023年G7広島サミットのアウトリーチ国として日本国政府が招待することとなったインドの駐日特命全権大使から、平和と非暴力の使徒として世界に知られているマハトマ・ガンディーの胸像を「平和都市」として知られ、人類の回復力と不屈の精神を示す顕著な例とも言える広島市に寄贈したい旨の申し出があった。インドは核保有国で、NPT（核兵器不拡散条約）及びCTBT（包括的核実験禁止条約）にも参加していないが、モディ首相の広島市訪問を機に、核兵器のない世界を実現するための確固たる決意をこめたメッセージを発信してほしい旨を前提としたうえで、非暴力の哲学と実践の先駆者であるガンディーの功績を称えて同胸像を広島市が受領することとなった。また、G7広島サミットが広島で開催されることを契機に同胸像が設置されることは、「国際平和文化都市」を掲げる広島市にとって意義があり、今後のインドとの友好親善や交流の発展が期待される。

なお、同胸像は、インドから国連などにも寄贈されている。

碑文について

日本語、英語、ヒンディー語の3か国語で記載されている。内容は下記のとおり。

マハトマ・ガンディー（1869－1948）

このマハトマ・ガンディーの胸像は、令和5年（2023）年5月20-21日、ナレンドラ・モディインド首相がG7広島サミットに出席したことを記念して、インド政府 インド文化関係評議会が広島市に対し、友好と親善の証として贈呈しました。マハトマ・ガンディーは、インド国家の父とされ、真理と非暴力の価値観の実践に生涯を捧げました。彼の信念は、今なお世界中の多くの人々に勇気と希望を与えています。